

子育て

須恵町に児童館を

ニーズがあるのかを調査

問

須恵町には0〜18歳の児童が遊んだり学んだりする児童館がありません。つくしんぼは3歳までしか利用できないため、幼稚園・学校などが休日、雨天の時などは遊び場がないとの多くの声を耳にします。

糟屋郡では篠栗町に3つの児童館、粕屋町に児童館と子育て支援センターの機能を併せ持つかすやこども館、志免町シーメ

答

イト内の子育て支援センターなど、すべての町に様々な世代の子ども達や保護者同士が交流できる場所が確保されています。児童館の建設、既存の施設で児童館として開放できる場所子育て支援センターとの連携、広域利用についての町長のお考えは。

答 平松町長



今村 桂子 議員

児童館の建設あるいは併設、他町との広域利用は、今のところ計画していません。この児童館に関して、私の方に要望があったこともありませんし、担当課に確認しても上がってきていません。児童館があった方が便利なのはわかります

が、他町にはあつて須恵町になくても、他町にはない素晴らしい資源が須恵町にはたくさんあります。その一つがコミュニティや共生のまちづくり推進事業です。今後、ニーズがあるのかを調査し、あるのであれば、新たに施設を建てるのではなく、何らかの形で児童館の機能を持てるよう検討していきたいと思えます。



多くの利用があるつくしんぼ

町政を問う!

一般質問

給食

学校給食のパンの安全性は

安全性は確認されている

問

今年8月デトックス・プロジェクト・ジャパンは緊急記者会見で、発がん性が指摘され、使用規制のある農薬グリホサートが髪の毛から、また輸入小麦を使った食パンから検出されたと報告しました。2015年7月国際がん研究機関(IARC)によって「ヒトに対しておそらく発がん性がある」と結論づけられた化

学物質です。国産小麦のみのパンからは検出されませんでした。

本町の幼稚園、保育園、小学校給食で出されるパンの安全性(残留農薬)についてどのような検査と対応をしていますか。福岡市のように食材の産地一覧を配布し、国産食材を要望します。

答 平松町長



児玉 求 議員

学校給食用小麦粉は、文部科学省の定める特別規格に従って製粉工場が製粉し、財団法人日本穀物検定協会が検定します。これに合格したものを福岡県学校給食会が購入し、福岡県内の総需要量をまとめて各市町

村の学校へ供給しています。本町では、幼稚園・保育園はカナダ産、小学校はカナダ産・アメリカ産を使用しています。次にグリホサート検査ですが、日本穀物検定協会が検定しています。食材産地一覧については、国が検査基準を定めていますので、町がお知らせするものではないと思えます。国産小麦を主体にすべきではとの質問ですが、日本の小麦受給率は10%です。給食でパンを食べさせようとすると必然的に足りない。あとは安全性の検査等に対応せざるを得ないと思えます。

最後に、100%国産小麦を使用するようにとのことですが、安全性が確認された食材でその必要はないと考えます。国レベルでの話になりますので、政党を通じて国に働きかけて下さい。



安全性が確認された給食